

機能要件確認書

※『必須項目』欄が○となっている項目については、当市の必須要件になりますので、1項目でも「対応不可」にてご回答いただいた場合は、自動的に本プロポーザル失格とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※カスタマイズ(有償対応)により対応可のものについては「2.対応不可」を選択してください。

ただし、システム利用開始時までにはパッケージのバージョンアップ(保守対応)で対応可のものについては「1.対応可」を選択してください。

防災システム					
No.	質問項目	回答欄	回答方法	備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください)	必須
◆職員ポータル機能					
1. 基本機能					
1	システムにID/PW入力にて、ログインできること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
2	一定期間経過後にシステムから自動でログアウトすること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
3	モードとして、実災害、訓練を設定できること。 訓練と実災害で利用する機能は、性能等の非機能要件を含めて同一とすること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
4	現在の設定中のモードが、視覚的に容易に確認できるように、画面表示を工夫すること。(背景色等)	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
5	各画面共通のヘッダ部分を表示すること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
6	ヘッダ部分には、システム名称、ログインユーザー名等のシステム情報を表示できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
7	設定した条件に基づき、ヘッダ部分へアラート通知ができること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
8	災害対応に必要な各種情報を視覚的に容易に確認するために、職員用ポータルメニュー画面を設けること。 メニューには収集情報の検索機能や参照が必要な関係システムのリンクを設けること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
9	手動・自動でページを更新し、最新の情報を表示できること。 自動で更新する場合は更新間隔を設定できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
10	表示件数(10・20・50・100件等)を切り替えたり、ページ操作(先頭/前へ/次へ/最後)を簡易にできること。必要に応じ、履歴一覧を表示できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
11	オンラインヘルプ(各画面の解説ボタンより、解説文を表示)で各メニューの解説を表示できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
12	定型な帳票で集計の効率化が図れるもの、参照機会が多いものを帳票出力機能として備えること。(定型帳票については別途協議の内容とする。)	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
13	非定型な帳票や参照機会が多くない帳票はExcel様式等で共有・ダウンロード・書き込み等ができるようにファイル共有機能を用意し、帳票ごとに指定場所に格納すること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
14	クログロジ・避難施設管理・被害報告等の機能について、インターネット接続環境が断絶した際の特別対応として、Excel等に入力したデータを一括して取り込める機能を備えること。 (またはローカルネットワーク内の共有フォルダにデータを蓄積し、別途、一括反映するための仕組みを構築すること。)	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
15	ユーザ間で共有すべきファイルを格納できること。 フォルダ構成を設定でき、ファイル・フォルダの移動、削除、名称変更ができること。ただし、管理者権限もしくはSE対応により削除した文書を復元できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
2. 災害名管理					
16	災害名を手動または自動で作成・管理できること。 また、災害の状態・制御管理(対応中、無効、終結、編集不可)ができること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
17	事案の複数管理が出来ること。 (例)クログロジ機能等により事案毎に管理できる など	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
18	登録した災害名が一覧で表示できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
19	災害名を登録、更新、削除でき、CSVでデータ出力できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
20	登録した災害名から、取り扱う災害名を選択できること。 また、災害名を選択することで、過去の災害名(事案)についても過去対応履歴として参照できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
21	訓練用災害名を手動登録できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
22	トップ画面もしくはヘッダ上に、各モード(実災害・訓練・平時)で登録された災害名を表示し、登録先の災害名を選択で手動切替できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
23	事案の災害種別は、「地震」、「風水害」、「雪害」、「原子力」、「火山」、「大規模事故」、「火災」、「その他」が可能であること。「その他」の場合は、詳細内容の入力が可能なこと。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
3. 訓練モード					
24	訓練モードにおいても、実災害モードと同様の機能を使用できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
25	訓練を実施した都度、訓練結果データを保持できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆ポータル機能					
1. 基本機能					
26	システムログイン後に初期表示されるポータル画面では、市内概況が地図及び一覧で表示されること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
27	国交省提供の図形データに対応でき、以下の情報を地図上に色分け表示すること。 (例)気象情報、地震情報、河川情報、本部設置、避難情報、避難施設、クログロジ	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
28	関連システムマスタで登録されたリンク情報を表示すること。 関連システムのURL情報をリンク先情報としてマスタ登録し、表示できること。 登録する関連システムは導入時に決定すること。リンクはシステムで編集可能であること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
29	登録されたクログロジに対して、受付数、重要度毎の件数、受付対処状況毎の受付件数、要望件数、対応件数、対応状況毎の対応件数を表示すること。 また、フィルタ、新着や重要情報等を色分け表示によるアラート表示し、各情報に遷移すること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
30	市の災害発生時における本部設置状況、避難情報発令状況、避難施設開設状況、クログロジ登録状況を表形式で表示すること。 また、市内の各区や支所等の地域単位のクログロジ登録状況を表形式で表示すること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
2. 掲示板					
31	掲示板の投稿一覧を表示できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
32	投稿については、既読・未読の管理ができること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
33	テキストベースで新規投稿が行えること。また、関連する電子ファイルをアップロードできること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
34	投稿に対してコメントを投稿できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
35	自身で投稿した情報のみ編集・削除が行えること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
3. お知らせ					
36	利用者に周知を図りたい情報や運用時のシステムメンテナンス日時等の案内などを登録し、表示できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆本部設置機能					
37	市本部の設置状況を事案ごとに登録できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
38	市本部の態勢種別(警戒本部/災害対策本部等)、設置日時、廃止日時、所在地、所属、連絡先、報告者を登録・更新できること。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	
39	本部の態勢に応じ、部署ごとの職員配備人数を管理できること。 ※職員参集の状況を、人員の充足率として本部で把握可能なこと。	—	—	1.パッケージで対応可、2.対応不可	

40	配備態勢状況の履歴を保持し、市本部の本部設置状況の遷移を一覧表示できること。 また、Excel、CSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
41	市本部の態勢種別がヘッダ部分等で常時、確認ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆被害情報機能				
42	被害情報を大まかな状況から詳細な状況を時系列に登録でき、GIS上に被害状況を作図できること。	—	—	
43	被害情報(件名や受信者、受信日時、発信元、手段、重要度、区分、対応班)の登録と、被害画像等をファイル添付でき、被害情報の対処内容を管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
44	被害情報の登録に当たっては、基本情報はテンプレート文書より設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
45	基本情報に設定するテンプレート文書を登録できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
46	被害状況の数値情報を登録できること。(消防庁4-2機能の集計対象)		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
47	被害数値情報については、消防庁様式の項目に準じた被害メモ項目とすること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
48	登録した被害情報に対し、他部署等に対処要望を依頼でき、要望に対する対処内容を管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
49	他部署からの業務依頼等の調整発信はポップアップ表示等により依頼された部署がリアルタイムに確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
50	登録した被害情報の対応状況を更新できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
51	登録した被害情報は対応履歴を保持し、時系列で対応の推移を表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
52	登録した被害情報は、一覧表示、項目による並替えや抽出ができること。また、各事象や活動状況の緊急度や重要度に応じ、強調表示(文字色等)を変更すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
53	合計欄に受付数、重要度毎の件数、対処状況毎の件数、要望件数、対処内容件数、対処内容の対処状況毎の件数の合計を表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
54	登録状況に変化(新規登録・更新)があった際に、即時更新もしくは一定時間間隔ごとに自動更新されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
55	条件指定して絞り込み検索できる機能を有すること。 (例)地域(区域)や受信日時、区分、件名、重要度、公開、対処状況、依頼フラグ ※検索キー詳細は導入時に協議し設定すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
56	絞り込んだ情報は、Excel、CSVファイルとして出力し、印刷や二次利用ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
57	各情報の詳細画面にリンクにて遷移ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
58	ネットワーク断絶時を考慮し、外部Excel、CSVからファイル取り込みによる一括登録ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
59	登録した被害情報を連絡票として出力でき、連絡票には、基本情報、対処要望、対処内容、地図が印字できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
60	登録した添付ファイル(画像のみ)を画像帳票として出力できること。 画像帳票には、基本情報、画像が印字できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
61	被害箇所について、GIS上でポイント・線及び面等の描画で登録し、住所反映できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
62	画像(静止画・動画)をアップロードでき、アップロード時にサイズ圧縮すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
63	登録した被害情報を東京都防災情報システムに連携できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
◆避難施設機能				
1. 基本機能				
64	避難施設の状況(開設・閉鎖)、避難者数等の状況を登録・更新できること。	—	—	○
65	避難施設の開設状況は、Lアラートや登録制メール、SNSを通して、各機関や住民へ告知可能であること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
66	各避難施設状況(開設/閉鎖)を地図上にアイコン表示(アイコン色分け/概要表示)できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
67	避難施設マスタ管理以外の臨時避難施設については、避難施設名称、住所等も登録することができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
68	避難者状況(混雑状況、性別や種類(乳幼児、高齢者など)毎の人数)、避難施設被害状況(ライフライン被害状況など)、本部への要請を管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
69	避難施設情報を一覧で表示すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
70	合計欄に、開設状況毎の数、避難施設数(臨時含む)、参集人員、収容可能人員、救護所併設数、要請有数、避難世帯数(自主避難数含む)、避難者数(自主避難数含む)の合計を表示すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
71	一覧画面上で、避難施設毎の運営情報を一括で編集操作ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
72	GIS上で避難施設の位置や概要を確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
73	避難施設の混雑状況を管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
74	報告対象施設を検索し、各種情報を任意の画像・動画(WORD、PDF等)を添付し保存できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
75	基本情報の配下に各施設の状況を時系列で登録できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
76	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
77	開設状況について、CSVデータの一覧ファイルによる一括取込登録ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
78	避難施設の状況(使用不可、未開設、開設済、閉鎖)に応じてアイコンのデザイン・色合いを変化できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
79	避難施設アイコンを押下すると、概要情報(避難施設名や開設・閉鎖等)を表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
80	避難施設情報をLアラート、SNSへ公開できること。 (Lアラートは東京都災害情報システム経由)		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
81	避難施設の開設状況、避難者数等の情報を東京都防災情報システムに連携できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
2. 運営情報				
82	避難施設状況(空き・混雑・一杯・不明)、避難者数(男女、帰宅困難者、種類)などを登録できること。	—	—	○
83	被害有無(未確認、有、無)、ライフライン状況、被害内容、使用可否を登録管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
84	その他共有事項を登録できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
3. 避難施設マスタ				

85	避難施設運営を行う基礎情報となる、避難施設名称、地域(区域)、住所、位置情報、電話番号、避難施設種別、指定区分、収容可能人員、面積、災害種別に関するマスタを管理できること。また、システムへの事前登録が可能なこと。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
86	マスタ登録された避難施設情報を一覧で表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
87	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
88	避難施設基本情報マスタを一括登録する際、Excel、CSV形式で一括で避難施設基本情報マスタファイルをインポートする機能を設けること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
◆避難情報機能					
1. 基本機能					
89	発令区域に対して、避難情報の発令・解除の管理し、通知でき、避難情報の対処内容を管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
90	避難情報の発令状況(区域や内容)を一覧及びGIS上に可視化して表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
91	避難情報の発令対象地域を選出し、対象地域に対する発令情報を登録・更新・配信できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
92	避難情報の発令対象地域は、対象エリア単位にマスタ化した対象地域からの選択入力及び自由入力ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
93	避難情報の発令対象世帯数・対象人数を登録できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
94	避難情報発令履歴を確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
95	避難情報の発令状況をSNSへ公開できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
96	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
2. 避難情報マスタ					
97	避難発令(高齢者等避難/避難指示/緊急安全確保)を行う基礎情報となる、発令区域名称(発令地区・町丁目等)、地域(区域)、人数、世帯数、位置情報に関するマスタあらかじめ設定された地域ブロックの他に、任意の発令範囲を新規に設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
98	マスタ登録された発令区域を一覧で表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
99	地域(区域)や発令区域名により、対象避難情報マスタを検索および一覧表示することができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
100	避難情報マスタを一括登録する際、ExcelもしくはCSVで一括で避難情報マスタファイルをインポートできること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
101	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
◆備蓄物資機能					
1. 基本機能					
103	備蓄物資情報を登録し、随時更新・削除可能で、備蓄倉庫の位置情報は、GIS上で視覚化できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
104	登録された備蓄物資を一覧で表示すること。また、一覧から個々の備蓄物資の詳細情報を表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
105	備蓄情報を備蓄倉庫や品目単位に一覧表示で参照できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
106	一覧に表示する情報をソートでき、一覧を印刷及びCSV形式でファイル出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
107	表示は備蓄情報の項目をキーにして検索し、一覧に表示する情報を絞り込めること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
108	備蓄物資の出庫先、出庫日、品目・数量を登録し、在庫数を自動計算の上、備蓄物資情報を更新できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
109	備蓄物資を別の備蓄倉庫に移動し、在庫数を自動計算の上、備蓄物資の数量を更新できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
110	棚卸しにより、複数の備蓄物資を合算し、備蓄物資の情報を更新できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
111	避難施設からの物資等の要請依頼を行い、要請への対応状況のステータスを管理し、確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
112	登録された物資要望を一覧で表示でき、避難施設の一覧からも、各避難施設の要請状況が管理できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
113	物資要望を登録、更新、削除できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
114	物資の入出庫の情報を履歴として確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
115	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
2. 備蓄倉庫マスタ					
116	市町村で指定した備蓄倉庫を管理(登録、更新、削除)すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
117	マスタ登録された備蓄倉庫を一覧で表示すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
118	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
3. 備蓄品目マスタ					
119	市町村で指定した備蓄品目を管理(登録、更新、削除)すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
120	マスタ登録された備蓄品目を一覧で表示すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
121	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
◆GIS(地図情報)機能					
122	背景地図上に、各種情報を地図表示できること。 GISエンジンを採用し、利用者が使い慣れた操作感で利用できること。 背景地図は切り替えることができ地理院地図等にも対応すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
123	パッケージとして採用する背景地図		自由記載(別紙可)		
124	システムで登録した災害情報が表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
125	縮尺に応じて適切な災害情報を選択して表示できること。 マウス操作により地図の移動や、拡大・縮小が可能なこと。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
126	住所、座標値によって、地点移動ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
127	凡例について、アイコンまたは色+文字情報で生成可能であること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
128	UTMグリッドを表示可能とすること。(縮尺によって表示単位を変更すること)		1.パッケージで対応可、2.対応不可		

129	地図の中心住所・UTM座標・度分秒・緯度経度を表示できること。 また、値入力により相互変換できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
130	緯度経度、UTM、目標物、住所を指定して中心位置を移動できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
131	地図上に作図できること。 以下の図形が使用可能かつ、プロパティ(色、線幅)も指定可能であること。 ・ポイント・ライン・ポリゴン・矢印(ライン)・サークル・アイコン・ペン(手書き) ・ボックス・テキスト・ボックステキスト		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
132	住所、座標値によって、地点移動ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
133	表示した地図をPDF等の電子データにて出力することができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
134	地図の印刷ができる。以下の2つの指定が可能とすること。 ・画面印刷・印刷用紙サイズ指定印刷		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
135	地図印刷機能を有し、災害対応業務用途に限り、複製印刷に係る費用が別途発生し、背景地図を切り替えることができ、パッケージとして採用する背景地図は全て背景化できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
136	オンライン経由で地図データを取得することで、地図データ更新作業が不要で、常に最新地図データを参照できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
137	雨量情報を地図上にレイヤにて表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
138	河川の水位情報を地図上にレイヤにて表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
139	土砂災害警戒区域等の情報を地図上にレイヤにて表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
140	浸水予想区域の情報を地図上にレイヤにて表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
141	土砂災害警戒区域等、浸水予想区域に更新がある場合は、更新に対応できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
◆被害取りまとめ機能				
1. 消防庁4-2				
142	消防庁4-2様式の情報を登録できること。対策部毎に登録できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
143	消防庁の第4号様式(災害概況即報)項目で、システム登録されている被災状況を集計表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
144	被災集計は、被害情報機能で入力した被害数値情報を自動集計し、必要に応じて、手動でも修正ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
2. 広報資料作成				
145	広報発表で利用する様式頭紙、避難情報、気象情報、クログロー情報、本部設置情報を出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆一括公開機能(情報配信機能)				
146	住民向け情報を登録し、各連携先(住民向け防災ポータル、登録制メール、緊急速報メール、SNS、Yahoo!防災速報)に一括で配信できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
147	指定した時間に事前に入力を済ませた情報を指定の連携先に一括で配信できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
148	一括公開で利用するテンプレート情報を登録できる。配信先のテンプレート情報を設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆住民向け防災Webポータル				
149	住民に公開する情報を表示するポータルページを構築できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
150	ポータルページは多言語に対応し、Google翻訳等による自動翻訳ができること。英語、中国語(簡体、繁体)、韓国語、ベトナム語、タガログ語等に対応すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
151	ポータルページはスマートフォン及びタブレット端末等からも参照できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
152	緊急情報機能で公開したデータが表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
153	当市からのお知らせで公開したデータが表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
154	公開文書フォルダで公開したデータが表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
155	避難情報で公開したデータが表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
156	避難施設情報で公開したデータが表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
157	避難施設情報は、災害時の開設状況、混雑状況が表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
158	関連システムマスタで公開した情報が表示されること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
159	地図情報への表示は、当市が保有するハザードマップ情報や避難情報、避難所情報をGIS(地図)表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
160	災害時のアクセス集中による負荷に対応することができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
◆避難発令支援機能				
1. 基本機能				
161	受信した気象情報・地震情報やハザードマップ等と重ね合わせ、危険度を可視化し、現時点での発令推奨地域や避難誘導候補を表示し、避難情報の発令、避難施設の開設支援を実施できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
162	地図上から避難情報発令・避難施設開設操作が同時にできること。 なお、発令には必ず確認行為が必要となるようにし、自動での発令は行わないこと。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
163	避難施設管理機能や避難情報発令機能にもデータ反映すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
2. 発令区域マスタ				
164	避難発令(高齢者等避難/避難指示/緊急安全確保)を行う基礎情報となる、発令区域名称(発令地区・町丁目等)、地域(区域)、人数、世帯数、位置情報に関するマスタ		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
165	あらかじめ設定された地域ブロックの他に、任意の発令範囲を新規に設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
166	マスタ登録された発令区域を一覧で表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
167	地域(区域)や発令区域名により、対象発令区域マスタを検索および一覧表示することができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
168	発令区域マスタを一括登録する際、ExcelもしくはCSVで一括で発令区域マスタファイルをインポートできること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
169	ExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆職員参集・安否確認機能				
170	予めシステムに登録された職員のメールアドレスに対して、一斉に自動及び手動にて職員参集指示及び応答、安否確認及び応答(以下、参集メール)ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○

171	職員個人によるメールアドレスの登録、変更、削除が可能であること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
172	管理者によるプロフィール(氏名、メールアドレス、配備体制等)の登録、変更、削除が可能であること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
173	配信グループは、配備体制、組織(部、課等)、その他グループを作成できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
174	本市を含む範囲に気象警報(大雨警報、洪水警報、津波警報、地震情報等)、国民保護情報が発表された際に、これに紐付く配備体制に応じて、職員に参集メールを自動配信できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
175	宛先を配備体制、組織単位で任意に選択できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
176	件名を個別に設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
177	定型文(テンプレート)の登録、変更、削除及び利用ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
178	誤送信防止のため、送信前に送信内容の確認画面を表示できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
179	一定時間の間に未回答の職員に対して再配信ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
180	再配信の条件(回数、間隔等)は設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
181	職員は参集メールを受信後、IDとパスワードの入力なしに報告を行えること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
182	参集メールを受信した職員にて、安否確認、登庁可否及び登庁時間、任意のメッセージを回答できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
183	回答結果をリスト又はグラフにて表示、確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
184	回答結果は組織、グループ単位で参照できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
185	配信結果(災害種別、配信日時、件名、自動/手動、配信対象等)を履歴として一覧表示、出力ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
186	職員の参集状況結果一覧は、いつでも最新の一覧表を表示できるよう自動計算をすること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
187	集計結果をExcelもしくはCSVでデータ出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
188	集計結果を印刷出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
189	氏名、所属、配備体制等のキーによる検索が可能なこと。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
190	ユーザ単位で参照、編集権限を設定できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
191	職員のメールアドレスは、画面から閲覧できないように配慮すること。ただし、メールアドレスの登録状況は確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
192	マスタ情報は、組織単位(部、課等)で参照、変更、削除できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
193	マスタ情報は、CSV形式での入力、出力にて一括メンテナンスできること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆マスタメンテナンス機能		—	—	
1. ユーザ登録・管理機能		—	—	
194	職員認証基盤から出力される汎用CSVを取り込み、組織改正や人事異動に伴うユーザ情報の更新が行えること。(汎用CSVについては本RFIに添付された参考情報を参照)		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
195	管理者権限で、ユーザの登録・更新・削除が行えること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
196	管理者権限で、パスワードポリシーの設定ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
197	クライアントからのログインは、ID、パスワードによるユーザ認証機能を有すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
198	職員のメールアドレスの登録は、ユーザ本人が登録・変更できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
2. 施設データ登録・管理機能		—	—	
199	管理者権限で、施設・設備情報を登録・更新・削除が行えること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
200	施設・設備の情報はCSVファイル等で一括登録ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
201	施設・設備の情報はExcelもしくはCSVで一括出力できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
202	地図データのライセンス料及び地図データ更新(5年間で4回更新)に係る費用が別途発生しないこと。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
◆モバイル対応		—	—	
203	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザに対応し、被害情報や避難施設の開設状況等を登録できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	○
204	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザを用い、GPS(位置情報)や撮影日時などを動画や静止画に付与して、タッチ操作を中心に簡易操作でシステムに登録できること。また、地図による登録状況の確認ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
205	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザから、システムにID/PW入力にて、ログインできること。初期設定後は、自動ログインによりログイン操作なく利用できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
206	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザからのシステム操作において、モードとしては、実災害、訓練を選択できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
207	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザからのシステム操作において、災害名管理機能で登録した災害名を表示し、災害名の選択ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
208	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザからのシステム操作において、地図を表示し、現在地や被害登録箇所、避難所などのアイコン表示され位置関係を把握できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
209	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザからのシステム操作において、被害箇所状況(被害や依頼内容)や位置情報、画像情報等を登録でき、地図及び一覧で確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
210	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザからのシステム操作において、オフライン時にも被害箇所状況(被害や依頼内容)や位置情報、画像情報等を登録でき、地図及び一覧で確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
211	スマートフォンもしくはタブレット端末内で動作するモバイルアプリあるいはブラウザからのシステム操作において、避難施設の開設・閉鎖、混雑状況、要望情報等を登録でき、地図及び一覧で確認できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	
◆外部連携機能		—	—	
212	Lアラート経由でJアラートから受信した国民保護情報を表示すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可	

213	関連システムマスタ(リンク情報)を登録すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
214	次の情報をシステムに取込むこと。 大雨情報(浸水害)の危険度分布/洪水警報の危険度分布		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
215	次の情報をシステムに取込むこと。 神奈川県雨量水位情報、東京都水防災総合情報		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
216	住民向け登録制メールシステムに対して、避難情報、避難施設情報を配信できること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
217	4キャリア(docomo、au、softbank、rakuten)に対して、配信ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
218	住民向け防災Webポータルに対して、配信ができること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
219	「ICTを活用したスマートシティの実現を目指した共同検討に関する協定」に基づく「災害時情報共有のオンライン化(※)に関すること」の検討に対応すること。 (※)災害時、町田市及びインフラ事業者等の被災状況等をオンラインで共有し、災害対応の高度化を目指す取り組み。本プロポーザル案件とは別システム。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		○
◆その他の機能について		—	—		
220	防災システム内に、各対策部で使用する様式等をEXCEL、WORD、PDF等の電子データで保存するための共有フォルダを有していること。また、保存できる数は制限がないこと(サーバの空き容量など、ハード環境の制限にのみ依存するものとし、システム		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
221	気象情報(台風情報、洪水情報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、竜巻情報、地震情報、津波情報、火山情報等)を受信すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
222	受信した気象情報を、当市で採用しているメール配信システム(株式会社バイザー社:すぐメールシステム)へ配信すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
223	J-ALERTから情報を受信すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		
224	J-ALERTから受信した情報をレベル分けして、職員のメールアドレスに配信すること。		1.パッケージで対応可、2.対応不可		